

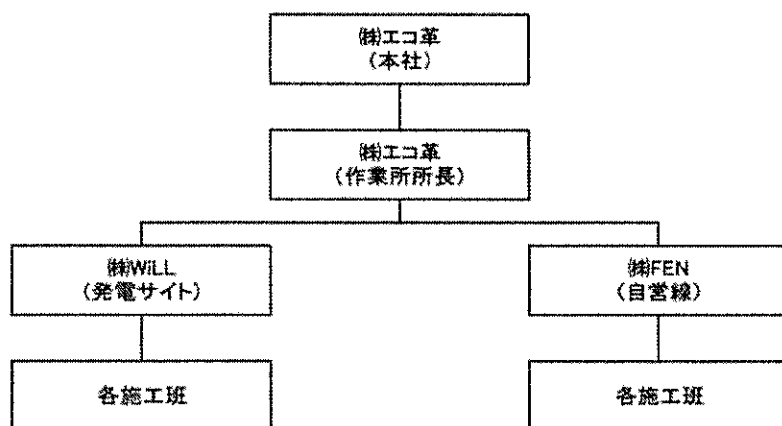


(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7 年 6 月 30 日	
都道府県知事	
(市長) 殿	
提出者	
住 所 栃木県佐野市高萩町1322-9	
氏 名 株式会社エコ革 代表取締役 伊藤繁三	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0283-85-9299	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	福島ソーラーシェア発電所建設工事
事業場の所在地	福島県いわき市小川町上小川字中戸渡322
計画期間	2025年4月1日～2025年12月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	元請完成工事高：147億円
③ 従業員数	97名（正社員72名、それ以外の職員25名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら→委託中間処理（破碎し再生骨材・再生路盤材に再資源化） アスファルトコンクリートがら→委託中間処理（破碎し再生骨材・再生路盤材に再資源化） 廃プラスチック類→委託中間処理（選別・破碎・圧縮固化し再資源化）→委託中間処理残さ→最終処分（埋立） 金属くず→委託中間処理（選別）→委託中間処理（破碎・圧縮・切断し再資源化） 木くず→委託中間処理（選別・破碎・圧縮固化）→委託中間処理（破碎しチップ材・再生）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	排出量	279.2 t	4356.63 t
	(これまでに実施した取組) 工事を計画通りに進捗させ、作業的ロスを最小限に抑えるよう努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	排出量	77 t	5313 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も上記内容を徹底し、廃棄物の排出量を低減させる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ○種類 (コンクリートくず、アスファルト・コンクリートくず) ○廃棄物の種類毎に分別を行い、他の廃棄物との混合を防ぐ
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も上記内容を徹底していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自ら産業廃棄物の再生利用を実施する予定はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の再生利用を実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自ら産業廃棄物の中間処理を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の中間処理を実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		

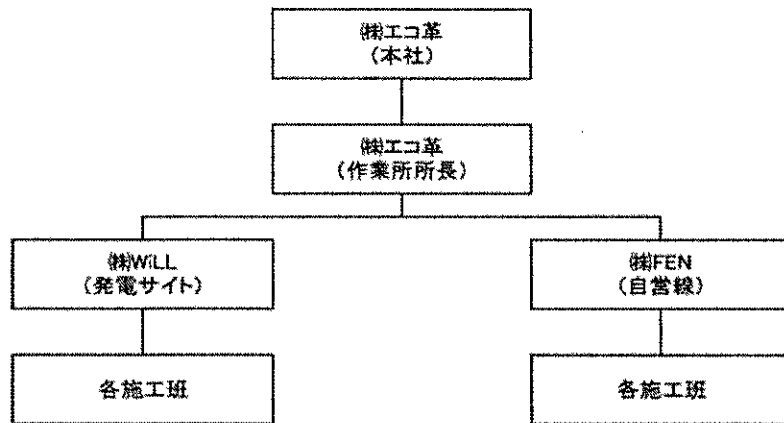
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	全処理委託量	279.2 t	4356.63 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 許可を有する収集運搬業者及び中間処理業者に委託するとともに、マニフェストに不記載及び誤りがないかの確認を行った。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトコンクリートがら
	全処理委託量	77 t	5313 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 許可を有する収集運搬業者及び中間処理業者に委託するとともに、マニフェストに不記載及び誤りがないかの確認を行う。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排 出 量	46.47 t	184.38 t
	(これまでに実施した取組) 工事を計画通りに進捗させ、作業的ロスを最小限に抑えるよう努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排 出 量	3 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も上記内容を徹底し、廃棄物の排出量を低減させる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ○種類 (廃プラスチック類、木くず) ○廃棄物の種類毎に分別を行い、他の廃棄物との混合を防ぐ
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も上記内容を徹底していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自ら産業廃棄物の再生利用を実施する予定はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の再生利用を実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自ら産業廃棄物の中間処理を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の中間処理を実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も、自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		

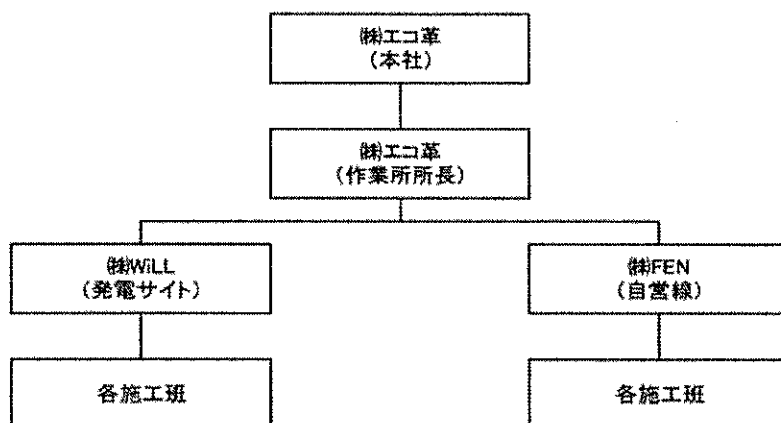
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	46.47 t	184.38 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 許可を有する収集運搬業者及び中間処理業者に委託するとともに、マニフェストに不記載及び誤りがないかの確認を行った。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全 処 理 委 託 量	3 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 許可を有する収集運搬業者及び中間処理業者に委託するとともに、マニ フェストに不記載及び誤りがないかの確認を行う。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	排 出 量	19.14 t	6.1 t
	(これまでに実施した取組) 工事を計画通りに進捗させ、作業的ロスを最小限に抑えるよう努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	排 出 量	1 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も上記内容を徹底し、廃棄物の排出量を低減させる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ○種類（紙くず、混合廃棄物（管理型含む）） ○廃棄物の種類毎に分別を行い、他の廃棄物との混合を防ぐ
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も上記内容を徹底していく。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自ら産業廃棄物の再生利用を実施する予定はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の再生利用を実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自ら産業廃棄物の中間処理を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら産業廃棄物の中間処理を実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も、自ら産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	全 処 理 委 託 量	19.14 t	6.1 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 許可を有する収集運搬業者及び中間処理業者に委託するとともに、マニフェストに不記載及び誤りがないかの確認を行った。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	混合
	全 処 理 委 託 量	1 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 許可を有する収集運搬業者及び中間処理業者に委託するとともに、マニ フェストに不記載及び誤りがないかの確認を行う。		
※事務処理欄		)	

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。